



問 障がい者雇用についての考えはどうか。(宮田)

答 率先して採用する立場にあると考え、職員の採用については障がい者の雇用に配慮したい。

◆手話通訳派遣費用

問 新年度予算に25%増額の理由は利用者数増か。(宮田)

答 利用回数が増えたため。



老朽化した両小野国保診療所

◆福祉・介護施設について

問 両小野国保診療所の厚生連移管の見通しは。(横沢)

答 過疎化の進む中山間地の医療施設は、医師等の確保や運営管理で、大きな医療格差が生じている。福祉・介護施設の設置は、これまで両小野地区には民間の参入意向がなかった。辰野町の計画では、小規模の特別養護老人ホームと介護老人保健施設が予定され、厚生連の計画では平成28

年度以降に予定すると聞く。

◆元気な高齢者になるため

問 いきいき長寿計画で近所に気軽に集える場所づくりは有償ボランティアと高齢者が参加できる制度は。(横沢)

答 公民館、集会所、空き家等を活用し誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりと、社会福祉協議会が行う有償ボランティアの育成と合わせ高齢者が気軽に利用でき、また元気な高齢者がボランティアに参加できる仕組みを検討したい。

◆介護保険制度変更の影響

問 介護事業所への報酬の大幅引き下げの影響、要支援1、2の地域支援事業への移行はどうなるのか。(鈴木)

答 介護予防の通所や特養の基本報酬が大幅に引き下げられる。小規模事業所の経営改善の相談等適切な支援を行う



歯科大横の湯の木坂手前で中断している
広丘西通線



東山霊園

ていく。「予防給付」の通所訪問介護は市の事業となる。要介護者に限らず65歳以上の被保険者対象の総合支援事業となり、29年度から移行する。

安全・安心のまちづくり

◆都市計画道路広丘西通線は

問 道路整備に向けた見直し案について市の考え方は。(西條)

答 広丘地区区長会のご意見をいただき、地権者や住民の皆さんにご理解をいただいでいく。

◆今後の霊園整備計画は

問 少子高齢化社会では、お墓の管理や継承が難しい状況で問題となっている。合葬墓

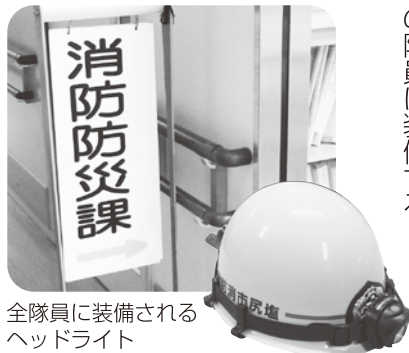
の建設が必要とされるが今後の計画は。(山口)

答 合葬墓を希望する市民がいることから平成28年度に建設し29年度には、販売したい。

◆安全な消防団活動を

問 災害現場で活動する消防団の皆さんはご自身の安全確保が第一。ヘッドライトや安全靴は一人一人に装備が必要だ、対応は。(山口)

答 新年度予算でヘッドライト不足分500個を購入し、全ての隊員に装備する。



全隊員に装備される
ヘッドライト

◆地域振興バス回数券導入は

問 利便性の向上のために回数券発行はどうか。(丸山)

答 関係団体からも提案されている。利便性向上と共に市民の活動や街の活性化にも有効利用が図れるため、導入に向けて検討していく。